



# 1月の園だより

令和6年1月4日

目黒区立中町保育園園長

## 明けましておめでとうございます

今年、心算としていた園内が、子どもたちの元気な挨拶と共に新年がスタートしました。久しぶりに会えた友達と楽しく遊ぶ子どもたちの声が響き渡っています。10日は、ホールや園庭で新年お楽しみ会を行います。十二支の話の聞いたり、保育士による獅子舞を見たり、羽根つきやこま回し、福笑い、けん玉など昔から伝わる伝統的な遊びをみんなで楽しみたいと思います。特に保育士が最初に挑戦する大きな“おかめ”や“ひょっこ”の福笑いは、子どもたちの声援が飛び交い、思わず笑ってしまう面白さがあり毎年盛り上がっています。また、今月は各クラスで様々な素材を使い、凧を作って遊ぶ予定です。子育て支援で地域の親子をお迎えして、園庭で一緒に凧あげを楽しんでいきたいと思っています。

今年も様々な経験を通し、友達といろいろな遊びを思う存分楽しみながらたくさん笑って、健やかに成長してほしいと心から願い、保育を進めていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月・2月は、クラス懇談会を予定しています。進級に向け、保護者の皆様と子どもたちの1年間の成長を振り返り、懇談を行っていききたいと思いますので、ぜひご参加ください。



### 行事予定

新年お楽しみ会  
お店屋さんごっこ  
身体計測 避難訓練

### <クラス懇談会>

たんぽぽ組(1歳児)  
もも組(0歳児)

### 展覧会の感想を ありがとうございました

\*1歳でもできるアートを見せてくださり嬉しかったです。作業している様子を写真で見ることができたのも良かったです。

\*大きな絵を描くのは家でなかなかできないので、嬉しそうに話をしてくれます。

\*解説がそれぞれ丁寧に書かれており、絵や線を描いている様子が目に浮かぶようでした。一人ひとりの事を注意深く見てくださってありがとうございます。

\*自分の子どもの作品が展示されるのは親として嬉しかったです。子どもたちが一所懸命に筆を走らせる様子、そしてその姿を温かく見守っている先生方の様子が、端的かつ写実的な文体からありありと目に浮かびとても印象的でした。また、一見ランダムに見える子どもたちの絵の中にも何らかの意図が見え隠れするようで非常に興味深かったです。

### 保健室より

健康教育では、自分の体について知り、子どもが自ら体調が悪いことを伝えられるように心掛けています。

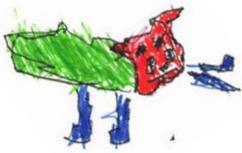
風邪予防では、手洗い・うがいはもちろんですが咳エチケットについても伝えていきます。咳やくしゃみをする時唾液などが1~2mは飛んでしまいます。飛沫感染を予防するために園では、ティッシュや洋服の袖で口を覆って咳をするように伝えていきます。手で口を覆って咳をした時には、手を洗い感染予防に努めています。



身体計測では、脱いだ洋服を畳んでひとまとめにし、友達の洋服と間違えないように伝えていきます。

日頃から、衛生習慣だけでなく生活習慣やマナーも少しずつ身につくように健康教育の中でも取り組んでいます。





## 室内遊びの様子



### もも組（0歳児）

#### 『 おいしいね 』

重ねカップやチェーンリングを使って、飲んだり食べる真似をするようになってきたので、ままごと遊びが楽しめるようにテーブル、お椀、スプーン、お手玉、くまのぬいぐるみ等を用意しました。保育士が、くまのぬいぐるみに「どうぞ」「おいしい？」と話しかけながらスプーンでお手玉をすくって食べさせる真似をすると、その様子を見ていた子どもたちが同じように食べさせ始めました。食べさせながら自分の口もパクパクと動いていたり、自分の頬にぽんぽんと手で触れて“おいしい”の仕草をしたりする子どももいます。「くまさん、おいしいっていつてるね」と声をかけるとそばで見ている子どもも一緒になって頬をぽんぽんとして、さらに食べさせていました。

これからも生活の中で子どもたちが体験したことを保育士と一緒に楽しんでいきたいと思います。



### たんぼぼ組（1歳児）

#### 『 自分で作った！ 』

保育士と一緒に乗り物の絵本を見ていました。新幹線のドクターイエローを指して、「あ、あ！ガタンゴトン…」と言います。「ドクターイエローかっこいいね、新幹線作ってみようか」とリブブロックの箱から黄色を見つけ「一緒の色だね」と話しました。手に持ったブロックに保育士も一緒に手を添え「ガシャン」と連結しました。三角と四角を繋げて新幹線の形ができると「ビューンガタンゴトン」と走る音を口ずさみ、嬉しそうに走らせています。散歩先や絵本で見たゴミ収集車やショベルカーなども色や形を自分で決めて作れるようになってきました。「せんせい、みて！」と保育士に知らせたり、他の活動に行く時には、“また後で遊ぶ”と、とっておいて帰って来てから遊びの続きを楽しんでいる姿もあります。実際に見たものや

好きなものを“自分で作った”という嬉しさや、“自分の”という気持ちがあり大事に遊んでいます。“もっとこんなふうにやってみたい”という気持ちに寄り添いながら一緒に作ることを楽しんでいます。



### ちゅうりっぷ組（2歳児）

#### 『 何で泣いているんだろう？ 』

ままごとをしていると床に寝転がった子どもが、足をバタバタさせながら泣き真似を始めました。保育士が「あ、赤ちゃんが泣いている。どうしたんだろう」と言うと「抱っこしてあげる」とお母さん役の子どもが抱きしめました。けれど泣きやみません。すると、もう一人のお母さん役の子どもが「分かった！きとおもらししちゃったんだよ。はい、ここにゴロンして」と言うと「待って！シート敷くから」と次はおむつ替えの真似が始まりました。そのまま赤ちゃん役の子どもが寝てしまったので、布団を掛けてあげていました。近くでおしゃべりをしている子どもがいると「赤ちゃんが起きちゃうからシーツ」と言い、みんなで寝ている赤ちゃんを見守っていました。いつも大人にしてもらっていたこと、弟や妹の様子をよく見ているのでしょう。経験したことを再現しながらやりとりを楽しんでいます。

